

英国王立地理学会アーカイブ Royal Geographical Society (with IBG)

地理学の進歩をめざし、その価値観・独立性・広範な活動が国際的に認知されている英国王立地理学会（RGS）は、200 万点以上のアーカイブ資料を所蔵しています。歴史的価値の高い地図・写真・書籍・文書・絵画・工芸品などが含まれる RGS の資料が、Wiley Digital Archives としてリリースされました。本データベースに含まれる資料の約 9 割は、今回初めてスキャンされ、デジタル化されたものです。

勢力の強い台風、地震など、激甚化する災害のリスクをとらえるうえでも、地理情報はかかせず、より高精細なデータの研究も進んでいます。気象衛星がとらえた台風の目に、現代の我々が新たな「目」を得たと感じるように、本データベースに収録されている資料のひとつひとつも、当時を生きた人々の「新たな知見」です。RGS が掲げる“Geography is, in the broadest sense, an education for life and for living.” は、現在の日本にもなげかけられているでしょう。



The Royal Geographical Society 英国王立地理学会（RGS）：

地理学の発展を目的として1830年に創立。地理学研究や教育・フィールドワーク・探検を支援するとともに、地理学の地位向上、公衆に向けての啓蒙活動にも力を注いできた。英国地理学会 The Institute of British Geographersと1995年に合併。16,500人以上の会員を擁し、その研究成果を毎年数百万人の人々に届けるRGSは、地理学の専門家はもちろんのこと、地理学を学ぶ大学院生や、さらに地理学や旅行・探検を愛するすべての人々を広く会員に迎えている。

価格表 同時アクセス無制限 FTE（教員＋学生数）により価格が異なります。

購入型 ◆完全買い切り（アクセスフィー無料） ご契約の際は、所属機関の IP アドレスが必要です。

価 格	お問い合わせください
-----	------------

●原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。掲載製品は、リバースチャージ対象製品です。

●正式なお見積もりは、別途ご用命ください。

※ 資料によっては一部印刷・文字等が不鮮明な箇所がございます ※ 動画は収録されていません

裏面以降に続きます →

(John Wiley & Sons, GBR / 丸善雄松堂株式会社)

丸 MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社[学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部]

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル

TEL 03-6367-6114 FAX 03-6367-6160 e-mail: e-support@maruzen.co.jp

◆収録資料

地図・地図帳、チャート、計画、遠征記録、フィールドノート、通信、日記、灰色文献、写真、描画、論文の草稿、議事録、講義、エフェメラ など

◆主題

歴史地理学、人文地理学、人類学、地域研究(アフリカ、アジア太平洋地域、中東、中南米、北米)、地図製作術、植民地史、ポストコロニアル、ジェンダー、地質学、気象学、開発学、環境、など、学際的な主題

◆編集陣

Wade Davis *Professor of Anthropology University of British Columbia*

Mona Domosh *Professor of Geography Dartmouth College*

David Lambert *Professor of History University of Warwick*

Felix Driver *Professor of Human Geography Royal Holloway, University of London*

Alison Blunt *Professor of Geography Queen Mary University of London*

<収録コレクション 一例>

極地探検 Sir Ernest Shackleton / R. F. Scott など

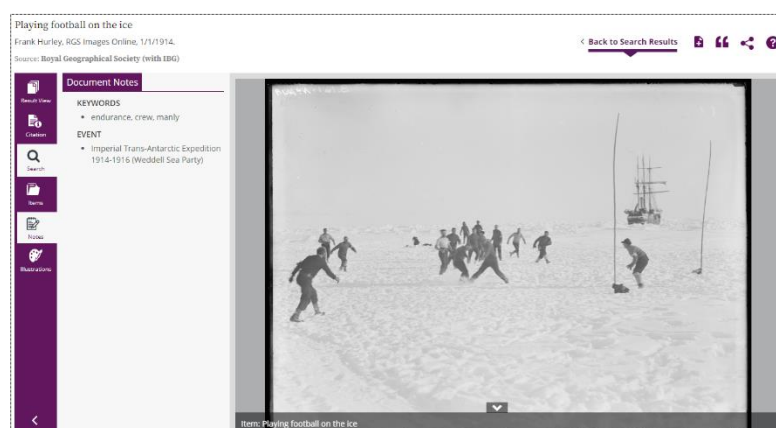
アーネスト・シャクルトン(Ernest Shackleton 1874-1922)が率いた 1914 年の帝国南極横断探検隊は、南極点経由で南極大陸を初めて横断しようとした試みでした。しかし、彼の船エンデュアランス号は、上陸を前に、流氷に閉じ込められ、沈没し始めます。シャクルトンと乗組員 27 名は、最小限の荷物のみを持ち船から脱出。その後、奇跡的にひとりの命も失うことなく帰還するまで、何ヶ月もの間厳しい試練と向き合いました。約 1 世紀前の彼らの極地での経験は、新型ウイルスによるストレスや社会との孤立という観点、未来を見据える姿勢からもあらためて見直されています。

彼の命がけの冒険譚、極地の自然がかつてどのように理解され、調査が進められたか、など広範な資料が残されています。南極点に到達するも、その帰路で遭難、死亡したスコット (R. F. Scott) の資料も収録されています。

RGS は、19 世紀半ばから地図を公開するなど、地理学者の情報交換の場としての役割を果たしてきました。

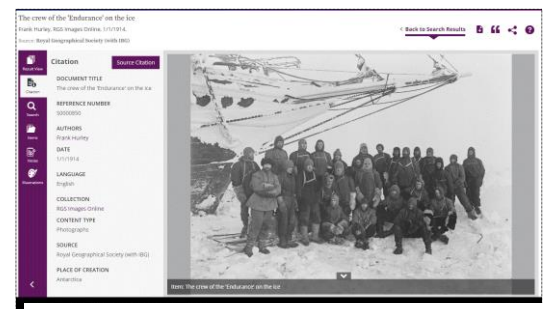
また、金銭的な支援、機材の貸与、探検のための手引きの出版など、RGS の学術分野への多大な支援が、アーカイブの蓄積につながっています。

↓ Livingstone が使用した 6 分儀



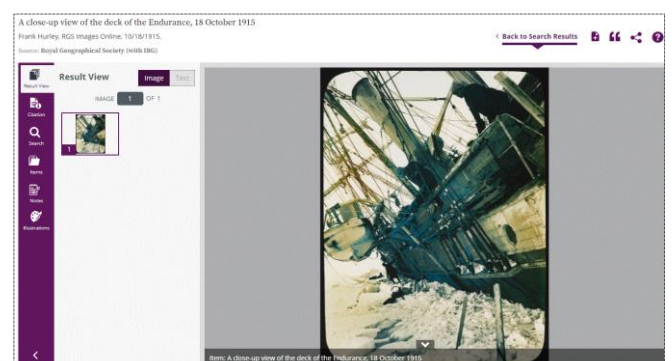
↑ Document title: Playing football on the ice

シャクルトンは、乗組員の気晴らしのひとつとして、サッカーも提案した



↑
Document title: The crew of the 'Endurance'

Document title : A close-up view of the deck of the Endurance,
18 October 1915 →



探検に挑んだ女性たち

19 世紀末から 20 世紀初めにかけて、欧米では女性が学協会や専門職の世界で活躍し始めました。イザベラ・バード (Isabella Bird)、メアリー・キングスリー (Mary Kingsley)、レディー・ヘスター・スタンホープ (Lady Hester Stanhope) といった女性たちは、探検と地理学研究の分野において、多大な貢献を成し遂げました。

英国の紀行作家・考古学者・行政官だったガートルード・ベル (Gertrude Bell) もそのひとりで、彼女は中東・アジア・欧州を広く旅し、各地で出会った人々や風景を写真・紀行文に記録。彼女がもたらした知識は、20 世紀初頭の英国の帝国主義の形成につながる一方、アラブ社会の近代化において重要な役割を果たしました。ベルをはじめとする女性と地理学に関する歴史的資料が、多数収録されています。

古地図

RGS の古地図・海図のコレクション (約 100 万枚) は世界最大級で、地球上のあらゆる地域を網羅しています。また、地図帳 (約 3000 冊)・地球儀 (約 40)・地名辞典 (約 1000 冊) のコレクションも傑出しています。その収集範囲は 15 世紀から 20 世紀までと広く、最も古いものでは、1485 年に印刷された地図も含まれます。



原資料の色、細部をピクセル単位で正確に保てるよう、先進的なスキャン技術を採用
高解像度でデジタル化



パソコン画面上で拡大し、
閲覧・印刷することが可能です



アフリカにおける植民地主義

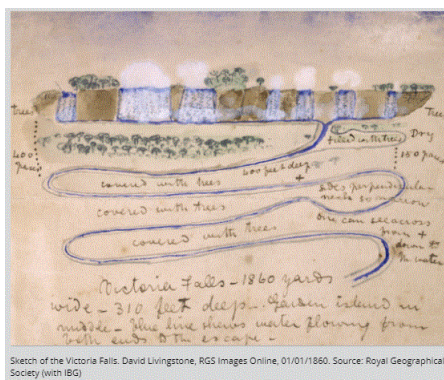
何世紀にもわたり、宣教者、科学者、政府はそれぞれの目的のもとアフリカに接触し続け、キリスト教の布教、植民地化の記録は、イギリス軍にとっての重要な情報ともなりました。リヴィングストン (David Livingstone)、スタンリー (Stanley) をはじめとした、アフリカに関する資料が収録されています。

エベレスト Everest Collection

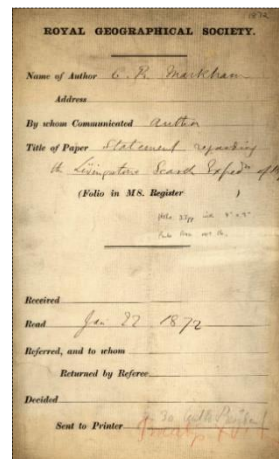
1921 年からはじまったエベレスト登頂の試みは、その 32 年後 (1953 年) にヒラリー (Edmund Hillary) がはじめてその頂に到達するまでも、多くの知見をもたらしました。



↑ ヒラリーに関する写真の検索結果



↑ リヴィングストンのスケッチ

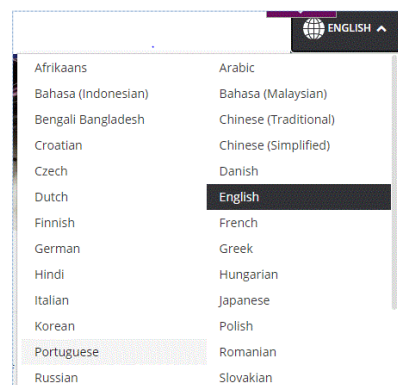


↑ The Livingstone Search Expedition of 1872

Wiley Digital Archives は、Wiley が提携している世界各国の有力な学協会・図書館・資料館などが所蔵する歴史的な価値の高い一次資料をデジタル化したデータベースです。これまで目に触れる機会の少なかったこれらの資料は、研究成果を裏付ける資料として、過去に公刊されてきた文献を研究者がより深く理解し、緻密に解釈するための大いなる助けとなることが期待されます。

インターフェイスの特徴

- 活字文書は全文検索可能
- 単語の出現頻度などをグラフ化する分析ツール
- 文献を年代によって絞り込み
- 統計データなどの表を Excel 形式でダウンロード
- 検索でヒットした文献の出版地を世界地図上で視覚的に表示
- ヒットした文献中の頻出語をテキスト分析で抽出
- 表示言語を英語・日本語・中国語・スペイン語等から選択可能 →
- OCR で読み取ったテキストをダウンロード可能

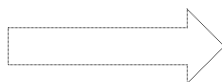
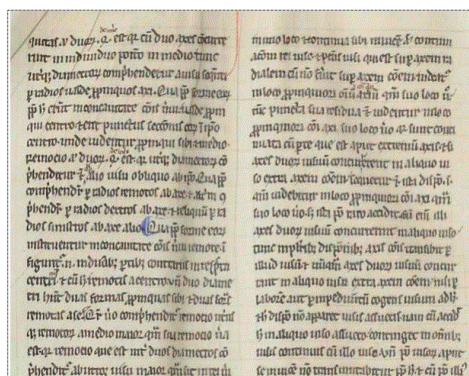


多言語対応を進めています

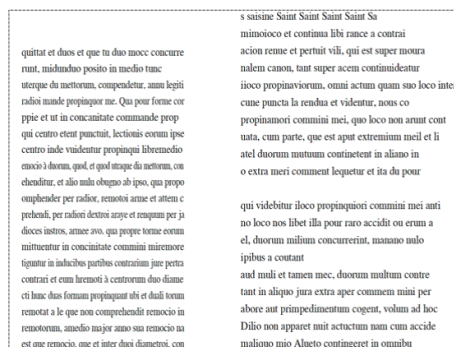
2021 年 Wiley Digital Archives 全データベースに搭載予定！

Automated Text Recognition (ATR)

ATR は、ニューラルネットワーク分析と確率ランキングを利用した新技術です。OCR および HTR にとってかわる技術として、期待されています。



ATR により・・・



無料トライアル受付中

下記の項目を E-mail: e-support@maruzen.co.jp あるいは FAX: 03-6367-6188 までご連絡ください。

- 機関名
- 担当者氏名（ふりがな）
- 電話
- E-mail
- IP アドレス
- 開始希望日

(*図書館からのお申し込みの場合のみご記入ください)

(*ご希望があればお書きください。お申し込みから設定まで 4~5 日間かかる場合がございます)

- ◆ 無料トライアルは、1ヶ月間です。
 - ◆ トライアルのお申し込みは、原則として大学・研究機関の専任教員・職員に限定させていただきます。
- 学生・大学院生の方は、図書館を通じて機関トライアルをご依頼ください。